

保護者の皆様、暑いなか保護者面談にご足労いただき、ありがとうございます。さて、いよいよ夏休みとなりました。進路決定に向けて、希望する進路先にかかわらず、勝負の夏となります。

納得のいく進路決定を目指すためには、相応の「覚悟」と「努力」が求められます。生徒の皆さんには「計画的」に日々を過ごしてほしいと思います。



- 就職(企業)希望者 …… 会社見学(7~8月)、採用試験(9/16から)
- 専門学校希望者 …… 複数の学校を比較検討する。受験種別(総合or推薦or一般)の決定。
- 大学受験の今後の日程について

月	入試関係スケジュール	保護者の皆様へ
7月 8月	◎オープンキャンパス (予約制の大学もあるのでホームページで確認) ◎各大学で募集要項配布開始 ○夏季課外 ☆推薦型選抜の受験申込み書配布 (8/20) 提出締切(9/9)	推薦型選抜や総合型選抜希望者は、様々な準備が始まります。日程などの情報収集をお子さんと確認しながら丁寧におこなってください。また、模試の結果によって、志望変更を考える生徒が出てきます。冷静に話し合い、まだ入試まで半年あることなど励ましてください。 学校での夏季課外、塾や予備校、自宅での学習とそれぞれ個人によって学習パターンが異なると思いますが、 起床時間や就寝時間の乱れが学習のリズムの乱れや体調不良につながります。 休み中ではあっても「規則正しい」生活が大切です。
9月	☆推薦型選抜受験者の選考・決定 ★共通テストについての説明 ※共通テスト受験案内配布、願書記入、受験料の振り込み ☆総合型選抜出願開始	推薦選抜の校内選考があり、受験の可否が決まります。受験決定者には、面接や小論文対策が本格的に始まります。 共通テスト の願書は、学校で生徒に配布します。受験料の振り込みや願書の記入は生徒個人で行います。 出願は「学校」で一括して行います。 校内の提出締め切り日までに願書を担任に提出して下さい。
10月	★共通テストの出願（学校から一括で） ☆総合型選抜の受験	この1ヶ月は、模擬試験も連続して行われ、生徒は精神的に不安定になりがちになると思われます。思ったより成績が伸びない、模試で良い判定が出ないなど気持ちが揺れ動く時期です。精神的ケアを心がけてください。 推薦選抜出願の準備には細心の注意が必要です。個人での出願なのか学校からの出願なのか、ネット利用が否かなど大学によって大きく異なります。
11月	☆総合型選抜合格発表 ☆推薦型選抜の出願および受験	一般選抜用の各大学の募集要項が出揃い、各自で取り寄せることになります。 受験計画(スケジュール)なども含め、生徒の希望や考えと、保護者の希望や考えをうまく調整していきましょう。 生徒が安心して受験勉強に打ち込めるようコミュニケーションをとっていただければと思います。
12月	☆推薦型選抜合格発表 ★共通テスト受験票の配布 ○私立大学一般選抜出願開始	計画通り学習が進んでいなかったりすると、受験生はイライラしたり、怒りっぽくなったり、情緒不安定になりがちです。あたたかく見守ってください。また、寒さから体調を崩す場合があるかもしれませんが、焦りは禁物です。インフルエンザの予防接種も検討して下さい。 推薦での合格決定者も、学習の継続を促して下さい。 大学入学後の学力不足が深刻です。 一般選抜でも合格できるだけの力 をつけておくのは必須です。
1月	★共通テスト実施(18、19) ★共通テスト自己採点(20) ●国公立大受験校の決定・出願 ○私立大の一般選抜開始	私立大一般選抜の出願、共通テスト本番、国公立大の出願と忙しく続いています。 この時期にさらに学力はアップしていきます。最後まであきらめないよう励ましてください。 授業は1月末まであります。焦りから欠席や遅刻が目立つ生徒もいますが、生活のリズムを狂わせるのは、逆効果です。最後まで「規則正しい生活」を。
2月	○私立大の一般選抜 ○私立大の合格発表 ●国公立大の前期試験	私立大の一般選抜が次々と実施されます。試験前は誰でも緊張し、精神的に不安定になります。気晴らしも入れながら万全の状態を試験に臨ませたいものです。あまりに過密日程の計画は要注意です。また、試験が終わると結果が気になるところですが、いつまでもこだわっていても仕方ありません。次に向けて気持ちを切り替えられるようにして下さい。
3月	○私立大の3月入試 ●国公立大の前期合格発表 ●公立大の中期試験 ●国公立大の後期試験 ●中期・後期合格発表	もし、良い結果をなかなか得られないでいる生徒も最後まであきらめないことが大切です。私立大の中には3月入試や後期入試を実施するところもあります。また、 国公立大の後期日程試験は近年受験欠席率が増加して倍率が大きく下がる 場合があります。最後まで心身の健康に注意してあげてください。

○ 大学入学共通テストについて

「令和7年度大学入学共通テスト(1/18(土),19(日))」の出題教科・科目・時間割

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』【リーディング】 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』【リスニング】 17:20～18:20(注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	『数学I、数学A』『数学I』 『旧数学I・旧数学A』『旧数学I』	13:00～14:10
	数学②	『数学II、数学B、数学C』 『旧数学II・旧数学B』『旧数学II』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情報	『情報I』『旧情報』	17:00～18:00

(注1) 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答するものとする。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答するものとする。

(注2) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

★ 昨年度までとの大きな変更点

- ・科目「情報I」の追加。(国立大では必須。ただし活用の仕方は随時発表)
- ・国語の試験時間10分延長。現代文の大問も1題追加。
- ・数学②の科目が「数学II BC」に一本化して、試験時間が10分延長。
- ・地歴公民は、科目の大幅な変更により、2科目受験の際はその組み合わせに注意

★ 共通テストの平均点について

共通テスト初年度が、比較的平均点が高めのやや易しめの問題だったのに対して、2回目は一気に難化して平均点が大幅にダウン。そして3回目の前回は科目によっては易化となり、4回目の今回は全体的にやや易化しました。年によって、また科目によっては今後も大きな変動があるかもしれません。文科省が公開している平均点の目標設定は、センター試験の時は6割だったのに対して、共通テストでは5割なので、大幅な易化は考えにくいといえます。

- ・平均点が大きく変化した科目(前年に対して)

国語	数学IA	生物	地理B	政治経済
+10.8点	-4.3点	+6.4点	+5.3点	-6.6点

